



兵庫県立大学大学院 紅谷准教授



第3高射特科大隊長 奥田二等陸佐

平成30年1月27日（土）、防衛省近畿中部防衛局は、阪神・淡路大震災の震源地であった淡路島の淡路市立サンシャインホールにて、第33回防衛セミナーを開催しました。講演に先立ち、地元淡路市の門市長からご挨拶を賜った後、兵庫県立大学大学院の紅谷准教授から「**大地震に備えた家庭・地域の防災対策**」、姫路駐屯地 第3高射特科大隊長の奥田二等陸佐から「**陸上自衛隊の災害派遣活動について**」と題して、それぞれご講演いただきました。

当日は、ほぼ満席の約200名の方が聴講され、「備えを十分にしておくことが大切だと改めて実感した」「普段は自衛隊側のお話を聞くことはないので非常によかった」等のご感想をいただきました。今回の防衛セミナーを通じて、防災意識が更に高まり、日頃からの備えや対策の重要性について、再認識していただくきっかけとなれば、幸いです。

当局は今後も、皆様からいただいたご意見を参考に、工夫を凝らしたセミナーを企画してまいります。



陸上自衛隊の災害活動に使用される救急車等の展示



淡路市 門市長



近畿中部防衛局 藤代局長



当日の司会



自衛隊の災害派遣活動の
パネル写真展示



救急車の内部と携行食の展示